

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 11月 26日

派遣者氏名（専門分野）	村上 彩子	（ フランス文学 ）
-------------	-------	------------

派遣期間	2012年 10月 22日	～	2012年 10月 30日
------	---------------	---	---------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
フランス	パリ	フランス国立図書館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

フランス国立図書館入館カード作成手続き

リシュリユー、ミッテランなどフランス国立図書館のどの館でも入館手続きは可能。

必要書類は

- ・大阪大学図書館の「海外の図書館向けの紹介状」
- ・身分証明書（パスポート）

のみを提示した。

学生であるどうかの確認はほとんどなく、国際学生証などの学生証の提示を求められることもなかった。登録中に、研究テーマを聞かれる。今回は一週間の滞在予定であったので、3日料金を2回支払う方法をとった。この場合、一律8ユーロなので計16ユーロ（3日カードに関しては学生以外でも同じ金額）。支払いはカウンターとは別のところで支払うことになる。

リサーチ方法

◇ **入館**

入館の際、どの館でもセキュリティー・チェックを受けることになる。またミッテラン館の場合、地下に降りる前に、扉横のカウンターに荷物を預け、必要なものを透明のケースに入れる必要がある。ただし、小さなハンドバックなどは持ち込める。

◇ **書籍検索・予約**

調べたい資料がどこにあるかはフランス国立図書館（BNF）のオンライン上にある Catalogue général を見る。ミッテラン館の場合、地下入り口前にあるカウンターや Salle X のカウンターで直接聞くこともできる。その場で予約した場合、資料が出てくるまで約1時間かかる。故障していなければ、机の前にあるランプが緑色にとり、資料の到着を知らせてくれる。初日以外は、席と資料を予約しておいた方がスムーズに作業に入れる。席が予約できなくても直接図書館に行けば当日席も用意されており必ず入ることができる。

◇ **複写**

複写室は南北両側に1つずつあり、10時から18時まで開いている。コピーカードを2ユーロで購入し、あとはチャージする。一枚30センチメートル。職員にページ数などを告げ、コピーをしてもらう。1920年以前（今から90年よりも前）の書籍であれば、許可が下りれば写真も撮れるので、そちらを利用した方が安い。マイクロフィルムなどの資料も同じ金額だが、こちらは自分でコピーする。職員に聞けば試

しコピーなどをして、きちんとコピーできるかどうか確認してくれる。

◇ リシュリユー館

もし調べたい資料がリシュリユー館 **Salle de spectacle** にあった場合は、ネット上での予約はできないので、直接その部屋まで行く。入り口で鍵を渡されるので、必要なもの（パソコン、メモ用紙、鉛筆）など以外はロッカーに入れる。**Manuscrit** も同じ部屋なのでペンを持ち込むことはできない。入館カードと交換に座席表を渡されるので、その座席まで行く。カウンター横にある紙に、書名、書籍番号、氏名と住所を書いて渡す。資料は 1 時半、2 時半といった決められた時間にしか出てこないなので、注意が必要（2012 年 10 月現在。リシュリユー館は工事中なので、やり方が変わる可能性は大いにある）。